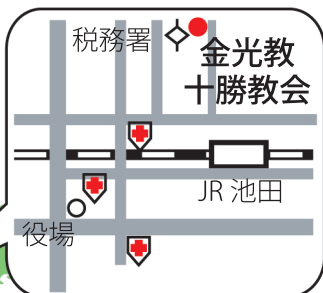
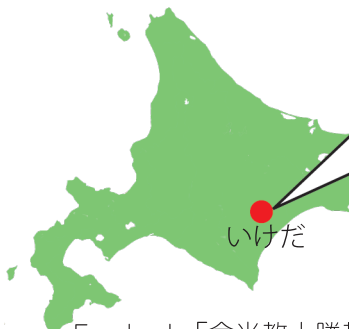


TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



金光教十勝教会
〒083-0001

Facebook「金光教十勝教会」池田町旭町1-9
<https://konkotokachi.stars.ne.jp>

十勝教会 だより 104



Facebook



教会 HP (PC)



金光教公式 HP

「氏子の信心でおかげを受け」

金光教十勝教会

氏子の信心でおかげ受け。今般、天地乃神より生神金光大神差し向け、願う氏子におかげを授け、理解申して聞かせ、末々まで繁盛いたすこと、氏子ありての神、神ありての氏子、上下立つようにいたし候。

（「お知らせごと覚帳」明治六年十月十日の

御神伝から抜粋）

これは天地金乃神様が教祖様に伝えた「御神伝」の一部です。そこには「人間あつての神、神あつての人間だから、後世まで神も人も共に繁栄できるよう、願う人々にはおかげを授ける」、「人は信心しておかげを受けよ」、「そのため生神金光大神を差し向けて、信心について諭し聞かせる」と書かれています。

○

私たちの日常には色々な事が起こります。今何事もなくても、いつどんなことが起こるかわかりません。そんな

私達に天地金乃神様は、信心して「おかげ」を受けよと訴え、わざわざ生神金光大神様を差し向けて、丁寧に信心まで教えてくれるのです。天地金乃神様は、私が救いを求める前から、私の立ち行きを願われている。そんな有り難い神様です。

せっかく神様が、「願う者におかげを授ける」、「信心でおかげを受けよ」と言ってくれているのだから、「信心して」おかげを受けようではありませんか。

○

さて、みなさん。心配事、色々な願いごとがある。そういうとき、どうしていますか？自分で神様に願う。教会へ参り、先生にお届けして神様へ御祈念してもらおう。どちらも大事なことです。でも、神様に願って、御祈念してもらっても、思ったような結果にならない。「おかげ」がいただけない…と思つたことはありませんか？

教祖様が「おかげ」についてこう説明しています

おかげは、めいめいの真に映る影のこ
とだから、神様に大きな真を向けてみ
よ。おきなおかげが身にいただける。
小さな真で、大きなおかげはもらえな
い。

(尋求教語録より抜粋※現代語にしています)

教祖様によると、「おかげ」とはそれ
ぞれの「真」にうつる「影」のような
ものだと言います。「真」とはそれぞ
れの心のあり方、神様を思う私達の心
のあり方です。つまり、「おかげ」は
それぞれの心に映る神様の影だと思え
ばいいでしょう。

心に映る神様の影を「おかげ」とい
うなら、鏡と同じで心が神様に向かっ
ていないと神様の影は映りません。教
祖様もあらためて「めいめいの心が神
様に向かうのを信心という」と諭され
ています。

そして、小さな鏡は顔しか映せませ

んが、鏡が大きければ全身が映ります。
神様に向かう心が大きければ、そこに
映る神様の影も大きくなります。もし
て、鏡が汚れていてはきれいに映らな
いと同じで、心が曇っていたりする
と神様の影もよく映りません。

そうなると、まず「おかげ」を受け
るには、自分の心をしっかりと神様に向
ける。気になる人、大事な人のことを
思うように神様の事を思う。その心を
できるだけきれいに保っておく。しか
も、その心を大きく広げておけば、いっ
ぱい「おかげ」がもらえるということ
です。



生神 金光大神
天地金乃神 心願
おかげは和賀心わがこころにありと書いてあり
ます。「和賀心」とは？
明治六年に定まった「天地書附」

では、①「心を神様に向ける。神様
のことを思う」です。

冒頭にあるように、天地金乃神様は、
常に私達の助かりを願ってくれていま
す。そういう神様です。自分が神様の
お働きに支え生かされていること、そ
の天地金乃神様がどんな神様なのか？
私の助かりや立ち行きをどれだけ願
てつづけている神様なのかが分かれ
ば、おのずと神様に心が向くようにな
ると思います。神様の願いやお働きに
ついては、教会で御取次をいただいて
神様のことを教えてもらいましょう。

②「心を広くする」と「心が曇らな
いようにする」には？

これについては教祖様や歴代金光様
が教えてくれています。「神様の願い
とお働きに生かされているのだから、
生活の何事も感謝の心を持って有り難
く務める」ことを実践する。これを実
践することが、心を大きく広くし、磨
くことに繋がります。さらに加えて「神
様の願いとお働き生かされているのだ
から、人を生かし、助けようとする神

様の願いに反しない」ことを心がけ、人の命、尊厳、財産に無礼をしないこと、人の助かりを願うことを実践していくことも、心を広げ磨くことになっていきます。

この②の実践こそ、教祖様が説かれた信心です。神様の「おかげ」をいただくのは、自分の心のあり方一つ。「おかげはわが心にあり」であり、「わが心」を広くし、曇らせないよう、「自分が「信心を实践」しなければいけないということ」です。冒頭の神様からお伝えの通り「氏子の信心でおかげ受けるのです」。

○

金光教の信心は、自分の心が神様へ向かうこと。先生に御祈念をしてもらって終わりではありません。自分が信心をしてはじめて大きなおかげをいただけます。「神様のお働きに生かされている私だから、何事も有り難く務める」を実践しておかげをいただきましょう。

おまけ

岩倉具視公（※明治維新十傑の一人）が病気で危篤のとき、賀茂神社から大阪教会に平癒祈念の依頼があり、早速教祖様にお届けをしたが、教祖様は「本人が信心しなければ、おかげはありません」と答えた。おかげはわが心です。本人の信心がなければ助かりません」と答えられた。

（近藤藤守先生の伝え。現代語に訳しています）



教祖様 奥城（お墓）の墓標
正面からは見えませんが、側面には御教えが刻まれています。

この後の教会祭典 行事予定

- 薫別講社 生神金光大神大祭 12月5日前後を予定
- 滝上礼拝所 生神金光大神大祭 12月13日を予定
- 越年感謝祭（年越大祓） 12月31日（火）午後1時30分
- 元日祭 令和7年 1月 1日（水）午後1時30分
- 教会新年会 2月 9日（日）午後12時

※新年会の開催日は変更になることもあります

教会日誌

令和6年8月1日から9月30日まで

8月3日 教区少年少女キャンプ「みどりのひろば」、小平町。教会長、他一名スタッフで参加。4日まで。

8月4日 釧路市、I家、H家、式年霊祭。

8月11日 教会設立記念祭・布教功労者報徳祭。

8月13日 滝上町、M家、二柱霊神式年祭。

8月16日 帯広市、I家、式年霊祭。

8月18日 池田町、M家、二柱一年祭。

8月23日 帯広市、K家、旬日祭。

8月29日 前教主・金光平輝様教葬、教会長会葬参拝。

9月10日 金光家先祖祭、みよ子先生参拝。

9月10日 本別町、I家、式年祭、改葬祭。

9月11日 帯広市、K家、合祀祭・納骨祭。

9月13日 函館教会布教記念祭、初代教会長百年祭・三代



写真 - みどりのひろば -

今年は、カヌーやヨット体験など久しぶりに野外活動を楽しみました



9月22日
秋季霊祭。

9月18日
北海道教師会研修会、みよ子先生出席。

教会長十五年祭、教会長参列。

写真 - 教会設立記念祭・布教功労者報徳祭 -

歴代教会長はじめ、神様に心向けてこられた先人のみなさんのお働きに支えられ、十勝教会は設立から104年を迎えました。



写真 - 秋季霊祭 -

ちなみに、十勝教会では春秋恒例の霊祭とあわせ、毎月10日に月例霊祭をお仕えし、霊様へのお礼と、霊様の道立てをお願いしています。



写真 - 函館教会布教記念祭 -

(写真は祭典後の教話)

明治24年、初代教会長・矢代幸次郎先生が函館にお広前を開かれたのが、北海道での本格的な金光教布教の始まりです。今年はその初代先生がお亡くなりになり100年、三代教会長・矢代礼紀先生が亡くなられて15年の霊祭があわせ仕えられました。



写真 - 金光平輝君教葬 -

前教主・金光平輝様は今年7月21日にご帰幽になられました。

8月29日、台風が接近するなか、全教から会葬者を迎え、無事教葬が仕えられました。

生神金光大神大祭祭典次第

金光教十勝教会

先「親神のよざしのままに」斉唱

一 祭員参向着席

一 拝 礼

一 神前拝詞奉唱

一 取次唱詞奉唱

一 祭主祭詞奏上

一 祭主玉串奉奠

一 天地書附奉体

一 参拝者代表玉串奉奠

一 金光大神賛仰詞奉唱

一 拝 礼

一 祭員退下

○ 御神伝奉読・講師紹介

○ 教 話

講師 札幌教会長

西村正人 先生

金光教宣言

大いなる天地に生かされる人間として

すべてのいのちを認め、尊び

神と人、人と人、人と万物が

あいよかけよで

共に生きる世界を実現する

KONKOKYO
金 光 教

♪ 親神のよざしのままに♪

一、親神のよざしのままに
わが生神金光大神
取次の道立ちしより
代々を経て今につづけり
二、神からも氏子からも
両方の恩人なりと
親神ののらし給える
生神を讃えまつらん
三、神のひれ木綿崎山に
照り映えて日の光なす
取次の道の靈光を
とこしえに仰ぎまつらん

食 前 訓

食物はみな人の命のために

天地乃神のつくり

与え給うものぞ

何を食うにも飲むにも

ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓

体の丈夫を願え

体をつくれ

何事も体が元なり